

## 会議要旨

会 議 名	甲州市行政改革推進委員会（第1回）
議 題	甲州市行政改革推進委員会委員委嘱式 第1回会議・委員会の役割について・行政改革大綱、実施計画について・行政評価制度について・今後のスケジュールについて・その他
開会日時	平成22年7月29日（木）午後4時～6時
開会場所	甲州市役所本庁舎 第2会議室
出席者名	◎熊谷委員、○塩野委員、雨宮委員、井上委員、佐藤委員、中村委員、平野委員、藤原委員、水上委員、矢崎委員 事務局 萩原課長、武川財政課長、中村課長補佐、佐々木
議 事	
<p><b>【委嘱式】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 委嘱状交付</li> <li>○ 市長あいさつ</li> <li>○ 委員自己紹介</li> <li>○ 職員自己紹介</li> </ul> <p><b>【第1回会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務局 （甲州市附属機関の設置に関する条例について説明した後、会長、副会長の選任の議事に移る。）</li> <li>○ 委員 事務局案があれば示してほしい。</li> <li>○ 事務局 大学で専門的に教えている熊谷先生に委員長をお願いしたい。副委員長については、女性の代表として塩野委員を提案する。</li> <li>○ 委員 （異議なし。）</li> <li>○ 会長 県立大学の国際総合政策学科で財政学、地域政策論、地方行政等を教えている関係で、甲州市での委員の仕事の他、南アルプス市、富士川町、甲府市等で委員などを行っている。微力ではあるが、皆さんから意見をいただいて、議論が進められるようにと思っているので、よろしくをお願いしたい。</li> <li>○ 副会長 女性の立場や地域の立場で、会長や皆さんと一緒に取り組んでいきたいので、よろしくをお願いしたい。</li> <li>○ （市長から会長に諮問書を手渡す。）</li> <li>○ （市長退席）</li> <li>○ 会長 それでは議事に入る。事務局から1から4まで一括で説明してもらいたい。</li> <li>○ 事務局 ((1)委員会の役割について、(2)行政改革大綱・実施計画について、(3)行政評価制度について、(4)今後の委員会のスケジュール等の説明を一括で行う。)</li> <li>○ 会長 一括して説明してもらったが、ご意見をいただきたい。質問等あればお願いしたい。まず、私から質問したい。1つは、推進プログラム実施計画書と第一次大綱は連動しているのか。</li> <li>○ 事務局 実施項目の下に、小項目が掲げられており、150の実施項目となっている。</li> </ul>	

- 会長 それぞれ実施項目については、全部シートがあるということか。
- 事務局 そのとおりである。
- 会長 プログラム体系と総合計画とは、何かリンクをさせているのか。
- 事務局 これが総合計画のどこに掲載されているかまでは、書かれていない。
- 会長 事務事業評価シートの説明もしていただいたが、このシートは、いつごろ、誰が作成したものか。
- 事務局 plan、do の部分は、21 年 5 月中作成、check、action については 2 月から 3 月に、事業を实际行っている担当者が作成している。最終的には、数字の確定した 5 月中に、異動した場合は、次の年の担当者が作成し、提出することになっている。
- 会長 この評価シートは、何年から使っているか。
- 事務局 プレ評価として 19 年度に実施したものを 20 年度に検証し、本実施として 20 年度に実施したものを 21 年度に評価した。21 年度の事務事業評価シートは、ホームページで公表するため、現在最終チェックをしている。9 月くらいには、掲載したい。
- 会長 事務事業は、分け方にもよると思うが、いくつくらいあるのか。
- 事務局 市民の方の関心のあるもの、市として重要なものを中心に 200 から 300 となっている。各課長の責任で評価する事業を決定している。
- 会長 各課にまかせているということか。
- 事務局 例を示し、内容を事務局が確認し、その事業内容に関する指摘をしている。
- 会長 20 年度のプレのシート自体は、誰が作ったのか。
- 事務局 最初の年は、株ぎょうせいのコンサルタントに支援していただいた。
- 会長 市長から諮問を受けたのだが、これは、推進委員会の裁量で、意見をだして答申をするということによいのか。
- 事務局 第一次大綱についての諮問については、大綱の内容はこれでよいという答申であった。2 年目については、諮問という形式はとらず改革内容に対する意見をいただいた。  
3 年目については、細かく 11 項目くらいの課題をあげて答申をいただいた。昨年度は、8 項目のご意見、課題をいただいている。
- 会長 皆さんから自由に質問をしてもらいたい。
- 委員 前期から委員をさせてもらっているが、この推進委員会をお願いというか投げかけた課題については、具体的に改善につながっているのか。
- 事務局 いただいたご意見については、推進本部へ報告し、市長から各課長に重点的にこの部分の改善を進めていくようにと、指示を受け改革に取り組んでいる。改革が進んでいると評価しているが、実際として変わっていない部分もある。昨年度の答申についても、副市長から指摘をいただいた事項は必ず改善するよう言われている。常に改革内容を念頭に仕事をしているかということ、そこまですべてはいない部分もあると思うが、あらゆる機会において、職員に改革事項を示して、改革し、推進する努力はしている。

- 委員 業務仕分け資料の中で、第三者評価の結果報告書で線が引いてあるものは、何か特別な意味があるのか。
- 事務局 評価支援をいただいているコンサルタントから、特に改善が必要な部分と指摘をいただいている箇所である。
- 委員 財政面では、かなり効果が上がっているということだが、職員の方の行革の方向性としては、財政面を削るという行革だけより、他の方向に行くよう狙いをもっていつているのか。
- 事務局 合併の特例が終了すると、現行予算より 7 億円ほどが減額になると予測されている。待ったなしで財政的な改革をしていかなければならない。住民の皆様の声聞きながら、目標を確認しながら、財政的な部分も念頭におき、改革を進めていく必要がある。しかし、削減するだけでは、行政サービスが後退していく懸念もあるので、市民、職員が知恵をしぼり、改革に取り組むことが大切である。
- 事務局 財政的な面では、合併前の 3 市町村の予算が合計 160 億で、今年は 151 億であり、すでに約 10 億の減となっている。予算時においても、二つのものを一つにするなどして効率的な事業執行を行なっている。
- 会長 甲州市での景気の影響はどうか。
- 事務局 市税は落ちている現状である。大きな法人がないことで、法人税が大きく落ちるということはなく、それほど影響はなかった。
- 委員 高齢化率が 26.7 パーセントである。人口が減っていることに対して、収入を増やすということは、工場にきてもらって人口を増やすとか、何らかの方法が必要だ。東京から 2 時間という立地条件のよい甲州市を PR するような内容を行革に入れるべきだ。行革の内容では、職員の給料を減らすなど内向きの話が中心だと思う。内向きの改革も、もちろんやらなければいけないし、大事なことだが、外に向かっていく改革で、甲州市のよさを知ってもらい、農業人口を増やすことも必要だと思う。PR 不足を感じる。岡山のマスカットや桃は有名だが、山梨の桃は知らないと言われる。PR の部分が改革に入っているほうがおもしろい感じがする。
- 事務局 今、PR とか人口をどう増やしていくかというご意見があったが、人口を増やすのは難しいので、交流人口をどう増やしていくかポイントだ。その取り組みで観光振興計画を策定し、力を入れているところである。歩くということを基本において、一カ所にとどまりじっくり見てもらうことも必要だと思う。甲州市は、果樹園の景観、武田の歴史、大菩薩の自然など資源が豊富である。一泊してもらい、住民との交流を通じて、いいところだと感じてもらうことが大切だ。なんらかの部分でご意見をいただきながら改革に盛り込んでいけば、個性のある計画になると思う。
- 会長 少し中身にまで入ってきているが、他に何かあるか。
- 委員 行政改革推進の関係と観光振興計画についての位置付けができてしているのか。また、職員の方の悩み等もあれば聞きたい。
- 事務局 第一次の計画には、収入の増という部分では、企業誘致や細かい部分ではあるがホームページや封筒の広告収入などの項目が入っている。交流人口を増やす

というものは行革の中には入っていない。企業誘致について5年間の計画を作って推進していくとしたが、こういう経済状況では難しい。甲州市は、ほとんどが優良農地であり農振除外などで、最低でも3年は掛かる。今の時代、3年掛かると経済状況がどうなるかわからない。さりとて、工業団地の土地を先行取得しても、売れない場合も考えなければならない。交流人口を増やしていくということは、果樹から発生する6次産業を進め、甲州市のファンをどのように作っていくかだと思う。市民団体はそういう活動を実際しているところもあるので、市として取りまとめ、方向性を出していく必要もある。今回そんなところにも触れていってもいいかと思う。そうすると特色ある計画になると思う。

- 委員 現状は、観光振興計画については、別のセクションで取り組んでいるということか。
- 事務局 そうである。健康は健康、観光は観光と縦軸だけになってはいけないということで、甲州市では、歩く・ウォーキングということを横軸にしている。歩くことは、観光にも、健康にも、環境保全にもつながるし、子どもも一緒であれば、地域を学ぶ学習になる。「ある〜くこうしゅう」という言い方をしながら縦の計画を横軸につなぐということを実践している。そこに行革が入ってくるということである。
- 委員 この委員会を使って、縦割りをもっと横に繋がるように促進していくことも可能か。
- 事務局 そういうご提案をいただいても結構である。
- 会長 かなり実践的な検討にはいつているが、他に何かあるか。
- 委員 今回初めての委員として、これまでの資料をいただきたい。事業計画、プログラム、シートこういったものを資料として活用したいが。
- 事務局 ホームページに掲載してあるが、お渡しする。
- 会長 委員の希望のあった資料は、送ってもらえるということによいか。
- 事務局 送らせていただく。
- 委員 これだけの方がいるので効率よく運営することが必要だ。事前にメモ書きでもまとめてもらい発表してもらえれば、効率的な運営ができると思うが、検討していただきたい。
- 会長 すでに、前から参加されている委員からのご提案だが。
- 事務局 細かい部分は、要領の中にあるように事前に文書で提出していただくことができる。事前に提出して頂ければ、整理をさせていただき、会議時お示しをして、それを見ながらご議論いただきたいと思う。
- 会長 委員も勉強しなくてはならない。
- 委員 あまり、会議のための資料づくりが多くなってもいけないという感じもする。
- 会長 事務局の言った形で進めていきたいと思う。先ほども話がでたが、次回の日程についてはどうか。8月23、24日あたりでどうか。
- 委員 23日がよい。

- 会長 開始時間をご希望があるか。
- 委員 午後 2 時からでどうか。
- 委員 (異議なし。)
- 会長 では、次回は、8 月 23 日、月曜日 14 時からということで、場所は庁舎内の会議室ということでお願いしたい。以上で今日の議事は、終わらせていただく。ご協力に感謝する。
- 事務局 早速のご意見に感謝する。副会長から閉会のあいさつをいただきたい。
- 副会長 (閉会あいさつ)

決定事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長に熊谷委員、副会長に塩野委員が就任する。</li> <li>・次回より事前に提出された意見については、事務局がとりまとめをして、会議時までに委員に提示する。</li> <li>・次回会議日程は 8 月 23 日 (月) 午後 2 時とする。</li> </ul>
-------	---